

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>「元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく 小田小学校」 知：課題解決に向けて、自らすすんで、根気強く取り組む子を育てます。 徳：豊かなふれあいを大切にし、互いを認め合える子を育てます。 体：心と体を鍛え、生命や健康を大切にする子を育てます。 公：地域の人やものを大切にし、共に生きる子を育てます。 開：様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。</p>	<p>○創造的に思考する力 ○つながりを考え、合意形成して伝える力 ○根拠となる理由や事例を明確にし、伝える力 ○情報を取捨選択する力</p>

(2) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>保護者・地域とのつながりの中で「夢中になって学ぶ楽しさ」を味わえる小学校を築く教職員集団「チーム小田」を目指します。 ○私たち「チーム小田」は、子ども一人ひとりを徹底的に大切にし、安心、安全で信頼される学校づくりを目指します。 ○私たち「チーム小田」は、研究、研修に努め、子どもたちが学び合う楽しさを味わえる授業改善を図ります。 ○私たち「チーム小田」は、子どもたちの自尊感情を育むために、心の育ちを支援する学校づくりに努めます。 ○私たち「チーム小田」は、地域とのかかわりを大切にし、学校内外との協働を進めます。 ○私たち「チーム小田」は、自ら「学ぶ楽しさ」を子どもとともに実践し、学び続ける教職員集団であり続けます。</p>

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取り組み

重点取組分野	具体的取り組み
<p>確かな学力</p> <p>担当 研究研修</p>	<p>・重点研テーマ「一人も独りにしない学びを目指して」を設定し、授業改善を図る。現在の特殊な状況下における新しい授業のスタイルを模索しながら、子ども一人一人がわかる楽しさや学ぶ喜びを感じられるようにしていきたい。そのために、教師はしっかりと児童の実態を把握し、子どもの考えを引き出したり、つなぎ合わせたりして、分かる授業を展開していく。</p>

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と分析 (R元年度実施)

全体的に見ると、横浜市の平均と同じかやや下回る結果となっている。4年生以上の学年は横浜市の平均をやや上回るのは、ここ数年の傾向となっている。低学年での丁寧な学びの積み重ねが高学年の学びにつながっていると考えている。

学習意識や生活意識には、学年によるばらつきが見られるが、「学校のきまり」や「友達や家族との約束」はしっかり守っていると答える児童の割合が非常に高い。高い規範意識も本校の特徴である。高い規範意識のもと、安心して学校生活を送れるようにしたい。

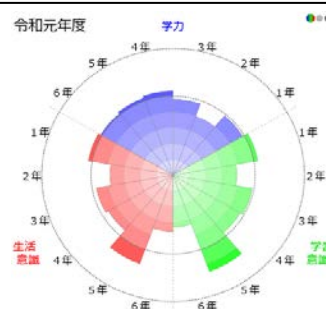
(2) 児童の実態と目指す子どもの姿

○一人も独りにしない学びを目指して

本校は素直な児童が多い。「児童の学び合い」を軸に、安心した学びの場を教師も共に作り上げていきたい。具体的にはつけたい力を明確にし、多くの児童がその力を身につけられるように指導の工夫を図っていく。また、すべての児童が学びに参加できるよう、子どもたち同士での支え合いや、ICT機器を活用した学習などを進めていく。

○自ら学び、判断し、表現することを目指して

R2年度に行った中期学校計画教職員評価で、本校児童の強みや弱みについて振り返りを行った。その中で、小田小の児童は「自分で判断し、行動することが苦手」「主体的に考えて、行動したり、活動を広げたりする力が弱い」といった声が上がった。その点を踏まえ、今年度は重点研でも安心した学び合いの在り方を研究していく。日々の授業の中で「自分で考えて決める」「友達に自分の考えを伝え、よりよいものに作りかえていく」経験を積むことで、児童自らが、未来を切り開き、様々な社会の変化に柔軟に対応できる力を身につけられるようにしていきたい。



3 令和3年度 教科等として育成を目指す具体的な資質・能力を具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆集団に所属していることを認識する力 ◆人の話を最後まで正確に聞く力 ◆本への関心をもち、自分で読む力 	<ul style="list-style-type: none"> ○音読練習を通して、新しい言葉を習得する。日常生活で、学習したことを使ったり繰り返し学習したりすることで、思ったことを言葉に表すことができるようにする。 ○友達の見聞きあう活動を積極的に取り入れ、相手を意識できるようにし、友達の考えのよいところを感じられるようにする。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ◆思ったことを言葉にする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○音読の継続や朝読書の継続を通して、本への関心を広げ、自分で読む力を伸ばすようにする。 ○友達の見聞きあう活動を積極的に取り入れ、友達の考えを知ったり、友達の意見を参考にしたりすることの大切さや良さを感じられるようにする。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆根拠となる理由や事例を明確にし、伝える力 ◆相手や目的に応じて話す力 ◆辞書を使う力 ◆情報（聞いたこと）を比較・分類する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを伝える場面では、相手や目的を意識して、理由を明確にして表現できるようにする。 ○課題を解決する過程で、集めた材料を比較し、相違点を見つけようとする態度を養う。 ○辞書の使い方を理解し、学習に取り入れることで、語彙を増やすことを目指す。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ◆目的や意図に応じて伝えることを整理する力 ◆つながりを考え、合意形成して伝える力 ◆情報を取捨選択する力 ◆批判的に物事をとらえる力 ◆創造的に思考する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの際は、常に相手や目的を意識できるように、児童にとって必要感のある話し合いの場を意図的に設定する。 ○課題解決の中で、常に目的をもって情報収集を行う。自分で整理・分類するために、分類・整理の仕方や視点を提示する。 ○読書の際など、分からない言葉は辞書を引くという習慣付けをする。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆目的や意図に応じて伝えることを整理する力 ◆つながりを考え、合意形成して伝える力 ◆情報を取捨選択する力 ◆批判的に物事をとらえる力 ◆創造的に思考する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの際は、自他の考えを正確に把握し、根拠が明確であるか検討し、課題と主張・根拠のつながりの整合性について考えることができるようにする。 ○教材に関連する情報を本や新聞などから集める学習活動を取り入れる。 ○情報の収集・整理・取捨選択するために、ラベリングやナンバリングしたものを、表や図、文章などを通して表現することができるようにする。 	
6年	<ul style="list-style-type: none"> ◆目的や意図に応じて伝えることを整理する力 ◆つながりを考え、合意形成して伝える力 ◆情報を取捨選択する力 ◆批判的に物事をとらえる力 ◆創造的に思考する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く学習を意識することで、目的意識・相手意識を高め、見通しのある学習を進められるようにする。 ○答えは複数あり得ることを前提として、様々な考えや感じ方があることを認めつつ、ノートやプリントなどで自分の思いを表現できるようにする。 	
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆集団に所属していることを認識する力 ◆思ったことを言葉にする力 ◆情報（聞いたこと）を比較・分類する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会などの学習活動を通して、話の内容に興味をもち、相手を意識して最後まで聞こうとする態度を育成する。 ○朝の会などの学習活動を通して、自分の意志を伝えたり、自分の経験や考えを表現したりする態度を育成する。 ○健康観察や給食を通して、自分の体調の変化に気づき、規則正しい生活を大切にして過ごそうとする態度を育成する。 	